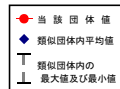


(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成30年度

宮城県大郷町

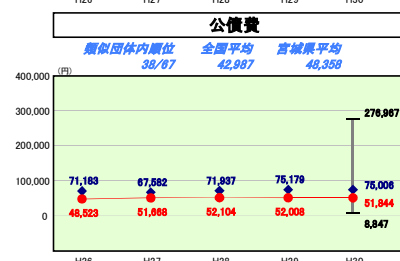
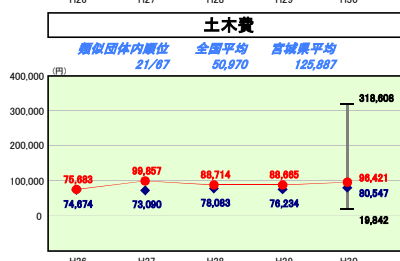
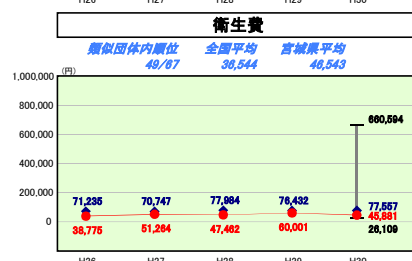
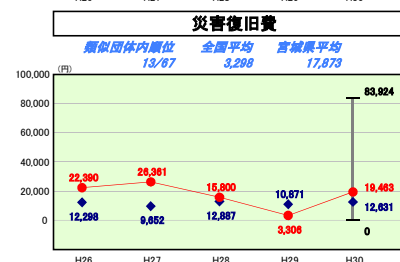
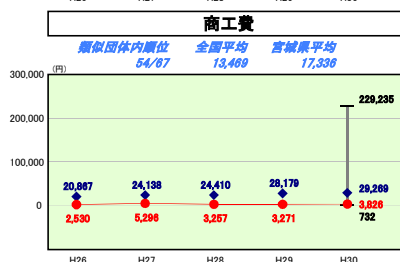
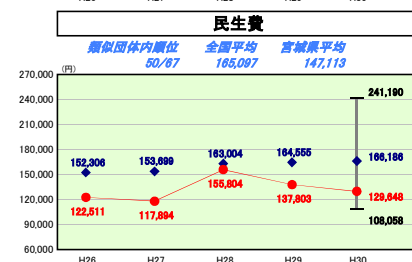
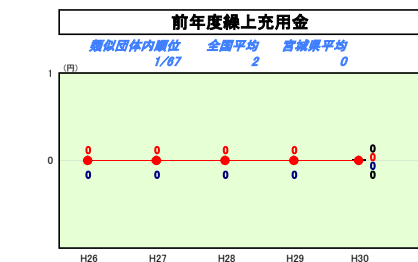
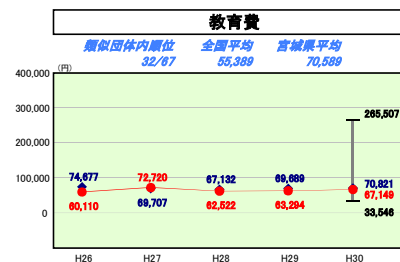
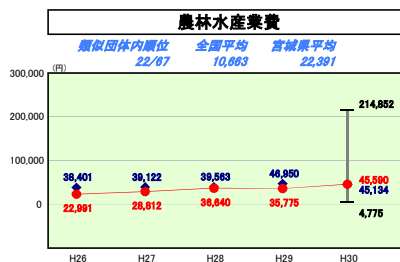
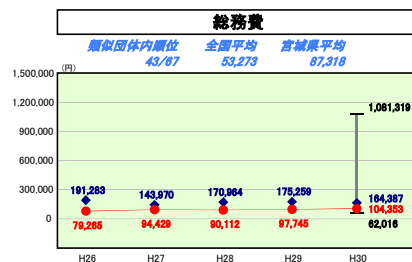
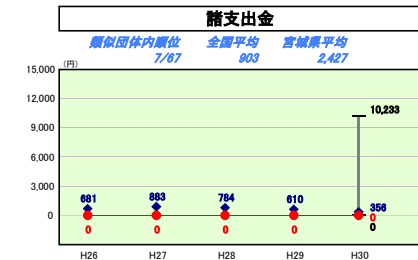
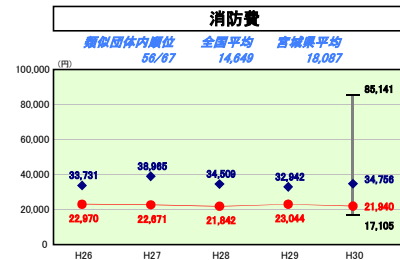
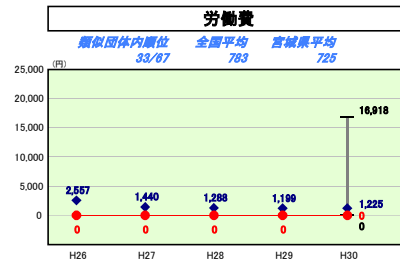
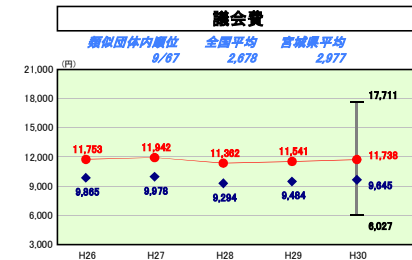
人口	8,126人(31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	8,063人(31.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%	
面積	82.01km ²	実質公債費比率	9.6	%	
入総額	5,121,880千円	将来負担比率	8.2	%	
出総額	4,858,144千円	市町村類型	H26Ⅱ-2	H27Ⅱ-2	H28Ⅱ-2
実収支	240,075千円	(年度毎)	H29Ⅱ-2	H30Ⅱ-2	
標準財政規模	2,889,006千円				
地方債現在高	4,381,854千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析額

民生費については、住民一人当たり129,648円となっている。平成26年度と比較すると7,137円(5.8%)増、前年度と比較すると8,155円(5.9%)減となっている。前年度比減は臨時福祉給付金の完了等によるものである。

総務費については、住民一人当たり104,353円となっており、平成26年度と比較すると25,088円(31.7%)増、前年度と比較すると6,608円(6.8%)増となった。前年度比増はふるさと納税や個人情報管理支援等による増が主な要因と考えられる。

教育費については、住民一人当たり67,149円となっており、平成26年度と比較すると7,039円(11.7%)増、前年度と比較すると3,855円(6.1%)増となった。前年度比増は幼稚園施設設備改修工事が主な要因である。

災害復旧費については、住民一人当たり19,463円となっており、平成26年度と比較すると2,927円(13.0%)減、前年度と比較すると16,157円増となった。前年度比増は、台風災害による公共土木施設工事等が主な要因である。

土木費については、住民一人当たり96,421円となっており、前年度と比較すると7,756円(8.7%)増となっている。前年度と比較して町道補修工事、町営住宅建設工事等が増額となったことが要因と考えられる。